

---

# 高校生ぶっ殺す！！

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

高校生ぶつ殺す！！

### 【コード】

N0268T

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

正式な題名は完結後に決めます。2000字連載。50話完結予定です。では、どうぞ！！

## 1・銭湯

ゴールデン・ウィークのある日。銭湯に高校生の集団が来てて、かなりうざかった。

とにかく、よくしゃべる。しかも声がでかい。こっちは静かにしていたので、ごっつイライライライラする。

働いてて疲れてる大人が、働かず遊んでばかりいる高校生に邪魔されてる。

世の中の理不尽さに胃がちぎれそう！

しかし、高校生どもは体でかいし、マッチョだから怖くて注意できない……いやな感じ。

「ああ。くそ！」

休憩所で、コーラを一気のみする。

## 2・やばい！

しかし、情けないことに女子高校生はかわいいもんだ。

男子高校生どもが、女子高校生たちと楽しく話をしてるのを眺めながら、オレは高校生になりたくてなりたくてしょうがない。

仕方ないので、サイダーを一気飲みする。くそう。腹ちやぼんちやぼんだ。

げ。

女子高校生の一人と目が合ってしまった。

オレはあわてて目をそらす。

やばい。

女子高校生がこっちに向かって歩いてくる。やばい。何か言われるのかな。いじめられるのかな。

怖いよう！！

なにいいい

「おじさん。あたしのことジロジロ見てたでしょ」

「ふん。見てねえよ」

嘘をついた。

「あたいのこと好きなの？」

「ふん。別に好きじゃねえよ」

また嘘をついてしまった。

男子高校生がやって来る。

「こらおっさん。オレの女と何をしとるんだ」

「ふん別に」

ややこしいことになってきやがった。

女子高校生が、いきなりオレの隣に座り、腕に抱きついた。

「??????」

「あつてめえロリ華。何してやがんだ」

「あたいたち、こういう仲だもんね。ねーおじさん」

ねーと言われても……。

男子高校生は怒りに震えている。

???

男子高校生が拳を上げた。

ロリ華と呼ばれる女子高生は、さっと鍋のふたを出した。どっから出したんだ。

「痛え！」

男子高校生がびよんぴよん飛んでいる。

「おじさん。行こ」

「う、うん」

女子高生はオレの手を引いた。

外に出て、オレは自転車にまたがる。なぜか、ロリ華も後ろに座る。

「まさかオレんとこまで来るんじゃないだろうね」

「行くよ」

とほほほほ。何ということだ。オレは犯罪はいやだぞ。と嘆いていても仕方ないので、とりあえず発車した。夜風が気持ちいい。

「ロリ華って言ってたね。オレ、豆沢偽善」

「じゃあ、豆ちゃんだね！」

勝手にあだ名決められとるし。

ロリ華の胸が背中に当たって興奮する。

「豆ちゃんは何してる人なの」

「オレ？ オレはマンモリボンメリをやってるよ」

「マンモリボンメリ？」

ああ。そうか。最近の子はマンモリボンメリ知らないのか。説明が長くなるからまた今度するよ

「ふうん」

突っ走って、10分くらいしたらアパートに到着した。

「ロリ華。飯食ったか」

「まだ」

「チャーハンくらいなら作ってやる。そしたら帰るんだぞ」  
「やったー。ありがとう」  
ロリ華とオレはアパートの部屋に入った。

## ロリ華と偽善

「そっか。ロリ華はあの彼氏と別れたいのか。むしゃむしゃ」

「そうなの。暴力ばっかふるうもの。むしゃむしゃ」  
高校生も色々大変だ。

しかしオレはただのおっさんだからなあ何もできないなあ。

ロリ華が、今日泊まりたいと言う。お母さんが心配するぞと言うと、ロリ華は児童擁護施設で暮らしてるらしい。

エッチなことはなしということに泊めてあげることにした。

ロリ華をベッドに寝せ、オレは、原稿用紙に向かう。すばる文学賞の〆切が近い。何とかして間に合わせないといけない。

ロリ華のかわいい寝顔を見ながら、彼女ほしいなあなんて思う。非正規労働者なので女性が相手にしない。

オレは、気分転換に短編を書いてみることにした。なぜかロリ華を主人公にしようと思った。

うんうん唸る。ロリ華を見てると、むらむらしてくる。いかんいかん。手を出したら犯罪だぞ。

オレはラークを吸いながら、ボルビツクを飲んだ。夜はまだ長い。一本書こう。職場で寝ちまいそうだから、バランスが難しいが。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0268t/>

---

高校生ぶっ殺す！！

2011年10月9日19時01分発行